

地区コミュニティタイムラインについて

◆経緯

本町において、コミュニティタイムラインの作成を推進していく必要があり、土砂災害警戒区域に該当している自治区へ作成の提案をした。

◆内容

打合せ

学習会（地域の災害リスク、岬町ハザードマップの説明）

まち歩き（3班に別れてまち歩きを行い、日頃は通過している道を歩くことにより、道路や河川を見る視点を変えることで危険個所を再認識する）

ワークショップ（まち歩きにて、再認識した危険個所を地図へ落とし込み当該自治区に対応したタイムラインを作成）

◆効果

身近な災害の状況を再認識し、コミュニティタイムライン・マイタイムラインの必要性を認識した。

他の自治区長も参加したことにより、他の自治区においてもコミュニティタイムラインの作成を推進できるようになった。

